

日立労基協だより

第10号

発行所
 日立市弁天町二丁目一番15号
 社団法人日立労働基準協会
 電話(0294)23-3431
 E-mail:roukikyo@sdi.or.jp
 編集兼発行人 桜井 博

あけまして
 おめでとーいっしょにします

年頭のご挨拶



(社)日立労働基準協会

会長 富山 正章



烏骨鶏 写真提供 日立セメント(株)

新年あけましておめでとーございませう。会員事業場の皆様方には、日頃から日立労働基準協会の運営に対しまして格別なるご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

お陰様を持ちまして平成十六年度の事業計画も現在のところ順調に実施されており、重ねて御礼を申し上げます。さて、労働災害の状況と致しましては、長期的には減少傾向を示しているものの、昨年も大規模事故・災害が全国各地で頻発しております。また、過重労働による健康障害や精神障害に係る労災認定件数も高い水準で推移しています。一方、相次ぐ台風被害、新潟県中越地震など自然災害が猛威をふるった一年でもありました。今尚、被災地では不自由な生活を余儀なくされており、早期の復興を心よりご祈念申し上げます。

こうした中、日立労働基準監督署管内では、死亡災害が7件発生しており一昨年の死亡災害ゼロ達成から、一転して憂慮すべき状況に至っております。茨城県内も同様の傾向にあり、休業災害においては、前年度の増加幅が、平成以降、最悪の水準を示しております。ご承知の通り、労働災害は絶対にあってはならないことであり、私達は、企業の重大な責務として、災害、職業

性疾病を阻止していかねればなりません。経済情勢が一進一退を繰り返す中、安全衛生を取り巻く環境も依然厳しい状況が続いておりますが、前述の災害傾向を踏まえた対策が必要不可欠です。

特に、「安全と健康を最優先とする意識の高揚」と、「安全で健康な職場を実現するための日常活動」と言った基本が大切であり、それを強力に推進する人材の育成が、最も重要と考えられます。

当協会と致しまして、人材育成の観点から、技能講習及び特別教育を中心に、関係法令に基づく労働条件、安全衛生等の普及・啓蒙を目的に活動を展開しております。引き続き関係官庁のご指導を仰ぎながら、尚一層の努力をして参る所存ですので、今後ともご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員事業場の皆様、更に飛躍の年となることを御祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

(社)日立労働基準協会

役員一同